※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史（山川出版）　（帝国書院）						
副教材等	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）　ルーズリーフ参考書（学研） 書きこみ教科書詳説世界史（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界では様々課題が日々起こっています。世界史の学習を通して、正しい情報を獲得し、多面的に物事を観察し、平和で豊かな未来を切り開く力を育んでください。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する 国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

②世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

③世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第Ⅰ部諸地域の歴史的特質の形成	″第１章 文明の成立と古代文明の特質″ １　文明の誕生 ２　古代オリエント文明とその周辺 ３　南アジアの古代文明 ４　中国の古代文明 ５　南北アメリカ文明	a.資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 b.　諸事象の背景や、結果や事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史特質を読み解く観点について考察し問いを表現している。 c.　興味・関心や疑問を見出して学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期テスト 課題	課題 振り返りレポート
		第２章 中央ユーラシアと東アジア世界″ 1 中央ユーラシア――草原とオアシスの世界 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成	a.秦～唐にかけての支配体制の変遷を理解する。 b.統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。また唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。 突　厥・ウイグルと隋・唐の関係を理解する。 c.　興味・関心や疑問を見出して取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期テスト 課題	振り返りレポート 課題

※令和４年度以降入学生用

1学期 1学期	第Ⅱ部	第３章 南アジア世界と東南アジア世界の展開〞 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開	a. 新たな宗教が誕生した背景を理解する。また古代インドの王朝の変遷と特徴を理解する。 b. クシャーナ朝と周辺諸地域との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 c. 古代インドの文化・宗教について多角的に考察しようとしている。	小テスト 定期テスト	課題 定期テスト	振り返りレポート 課題
		第４章 西アジアと地中海周辺の国家形成〞 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展	a. イランの地理や民族についての基礎的な知識を習得している。 b. イラン人が東西の文明の間で担った役割を多面的・多角的に考察 し表現する。 c. 古代イランについて興味を持って主体的に学習に取り組んでいる。 a. ギリシア・ローマの歴史の流れについて対比して理解する。 b. 諸ポリスがマケドニアに敗れた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 c. ヘレニズム文化やキリスト教について、西欧文化の基盤となることを意識して探求的に学ぼうとしている。	定期テスト	課題 テスト	レポート

※令和４年度以降入学生用

	諸地域の交流・再編	第5･6章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成″ イスラーム教の伝播と西アジアの動向 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成 3 イスラーム教の諸地域へ伝播 4 西アジアの動向	a. アラブ帝国からイスラーム艇帝国への b. 正当カリフ時代とウマイヤ朝以降を比較し、その違いついて多方面・多角的に考察し、表現している。 c. イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大した理由を主体的に探求している。	定期テスト	課題 定期 テスト	レポート
		第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開″ 1 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2 東ヨーロッパ世界の展開 3 西ヨーロッパ世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	a. 西ヨーロッパに特有の封建社会の成立について理解し、その後の封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。 b. 十字軍以後の西欧における中央集権国家成立にむけた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。 c. 中世の西ヨーロッパの文化について興味･関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期テスト	課題 テスト	レポート
1学期	第Ⅱ部諸地域の交流・再	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 1 アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国	a. 10～12 世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。 b. モンゴル帝国の拡大についての地図等史料を活用し具体積に持って考察し、表現している。 c. モンゴル帝国成立の世界史的意義を主体的に考察しようとしている。	定期テスト	課題 テスト	レポート
		第9章 大交易･大交流の時代″ 1 アジア交易世界の興隆	a. ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。	定期テスト	課題 テスト	レポート

※令和４年度以降入学生用

	編	2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	b．ヨーロッパの海洋進出は、諸地域にどのような影響を与えたか多面的・多角的に考察し、表現している。 c. 海洋進出によるアメリカ・アジアの変容について興味・関心を持って考察しようとしている。	定期テスト	課題テスト	レポート
		″第 10 章 アジアの諸帝国の繁栄″ 1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域	a. 16 世紀のアジアに成立した国家について成立やその特色について理解している。 b. 図像資料や領域を示す地図などをもとに、オスマン・ムガル帝国の興隆と衰退がアジアに与えた影響を考察し表現している。また清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について多角的に考察している。 c. 16 世紀のアジアにおいて繁栄した広大な領土国家やその国が諸地域に及ぼした影響などについて主体的に追及しようとしている。			
		″第 11 章 近世ヨーロッパ世界の動向″ 1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭 5 北欧・東欧の動向 6 科学革命と啓蒙思想	a. ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 b. 資料をもとに、ルネッサンス広がりや、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。 b. 歴史的経過や史料をもとにオランダ・イギリス・フランスの台頭とその覇権争いについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c．科学革命と啓蒙思想について、自分で課題を見出し、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期テスト	課題テスト	レポート
2 学期	第Ⅲ部 諸地域の結合					

※令和４年度以降入学生用

	・変化	第 12 章 産業革命と環大西洋革命″ 1 産業革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展 3 フランス革命とナポレオンの支配 4 中南米諸国の独立	a. 産業革命がイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 b. 当時の資料をもとに産業革命が与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c．イギリス産業革命についての課題を主体的に追及しようとしている。 a. アメリカの独立やフランス革命がおこった要因・ナポレオンが台頭した背景を理解している。 b．独立戦争やフランス革命の資料をもとに、それらを多面的・多角的に考察し、表現している。 c．独立戦争やフランス革命とナポレオンについて、自分の興味・関心を持って追及し、学習に取り組もうとしている。	定期テスト	課題テスト	振り返りレポート
３学期	第Ⅲ部 諸地域の結合・変	第 13 章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成″ 1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19 世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	a. 19 世紀ヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを各国の共通点・相違点を踏まえて理解している。南北戦争につながるアメリカ国内の対立構造やその後の展開を理解している。 b．地図や写真などの図像資料をもとに、ヨーロッパやアメリカ合衆国での変化を多面的・多角的に考察し、表現している。	定期テスト	課題テスト	レポート

※令和４年度以降入学生用

	化		角的に考察し表現している。 b．図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 c．１９世紀欧米文化について、興味・関心を持って主体的に学習に取り組もうとしている。			
		第 14 章 アジア諸地域の動揺″ 1 西アジア地域の変容 2 南アジア･東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	a. オスマン帝国･イラン･アフガニスタンにおける動揺や改革の推移をヨーロッパ列強との関係とともに理解している。欧米諸国の進出と東アジアの植民地化について理解している。 b. 図や史料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し、表現している。 c. アジア各地で起きたこの時期の変容について興味・関心を持って課題を見出し、学習に取り組もうとしている。	定期テスト	課題テスト	レポート
３学期	第Ⅳ部地球世界の課題	第 15 章 帝国主義とアジアの民族運動″ 1 第 2 次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	a. 列強による世界分割がどのように進められたかや、列強体制の変化について理解している。 b. 植民地化の図像資料をもとに、ヨーロッパ進出の経緯をふまえ、植民地化と世界経済の関係を多面的･多角的に考察し表現している。 c．列強の世界分割について、興味・関心を持って課題を見出し、学習に取り組もうとしている。	定期テスト	課題テスト	レポート

※令和４年度以降入学生用

		第 16 章 第一次世界大戦と世界の変容″ 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア･アフリカ地域民族運動	a. ロシア革命がどのように展開したのか理解している。 第一次世界大戦の前後の国際秩序について理解する。 大戦がアジア・アフリカ各地に与えた影響を理解する。 b. 地図などをもとに第一次世界大戦・ロシア革命・アジア・アフリカでの民族運動について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ｃ. 第一次世界大戦時代とこの時代の世界の変容について興味・関心を持って課題を見出し、学習に取り組もうとしている。	定期テスト	課題テスト	レポート
		第 17 章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成″ 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	a. 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。第二次世界大戦の対立構造と勃発から終戦までの経緯を理解する。 b. 世界恐慌が起こった背景や第二次世界大戦のその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 c. 第二次世界大戦について、疑問や関心を見出して、学習に取り組もうとしている。	定期テスト	課題テスト	レポート
		第 18 章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺	a. 冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 b. 資料をもとに多面的・多角的に考察し表現している。 c. ベトナム戦争をはじめとする 1960 年代以降の冷戦体制の動	定期テスト	課題テス	レポート

※令和４年度以降入学生用

			揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。			
		第 19 章 冷戦の終結と今日の世界 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相	a. 地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 b．原油価格の推移や経済成長率の推移などの資料をもとにオイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面	定期テスト	課題テストト	レポート

※令和４年度以降入学生用

			的・多角的に考察し表現している。 b．1990 年前後の各地の資料をもとに東西冷戦の緩和などを多面的・多角的に考察し表現している。 c． 今日の世界が抱いている課題について、興味や関心を持って主体的に学習に取り組もうとしている。	定期テスト	課題テスト	レポート